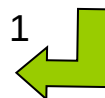


第155話

インストラクショナルデザイナーと
インストラクターはどこが違うか

インストラクショナルデザイナーは設計をする人でインストラクターは実施をする人という違いがある。まあそうですが、実施するためには何を教えるかを設計しておく必要があるので、インストラクターには設計も必要じゃないですか？（→[ADDIEモデル](#)）じゃあ何が違うんでしょうか？『[デザイナーとしての教師](#) [アクターとしての教師](#)』や[ibstpi](#)の[IDコンピテンシー](#)と[インストラクタコンピテンシー](#)などを材料にして、両者の差異を考えてみましょう。

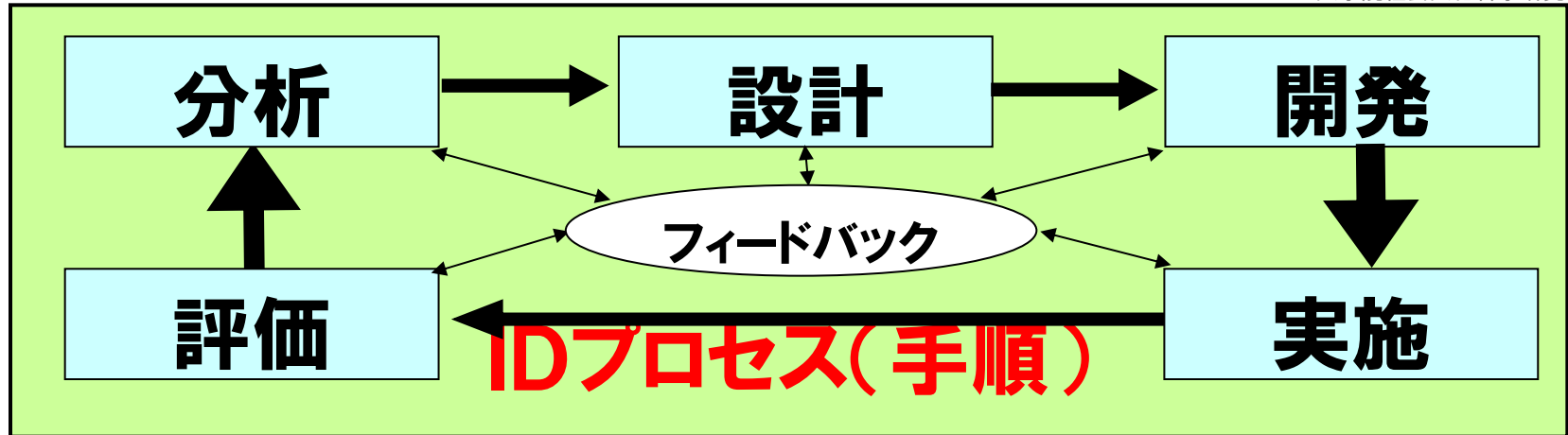
- 教職科目「教育方法」で「[教材設計マニュアル](#)」？
- [自分が教えたことがないことの教え方に文句をつける？](#)
- [ダブルディグリーの勧め](#)（2009. 3. 8@JSISH）
- [永遠のテーマ](#)：内容に依存しない教育方法の専門性



ADDIEモデル(IDプロセス)と それを下支えするID理論



Kumamoto University
大学院社会文化科学研究科



学習支援方法・環境の要件定義





『デザイナーとしての教師 アクターとしての教師』

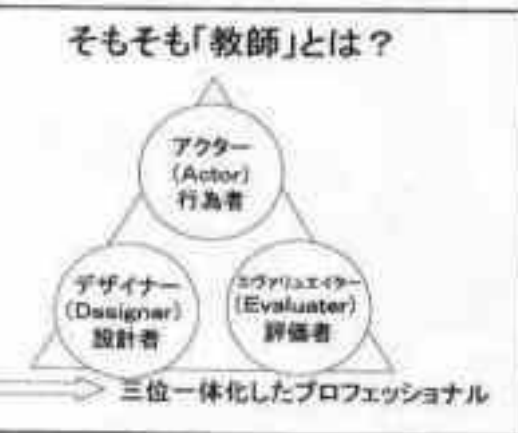
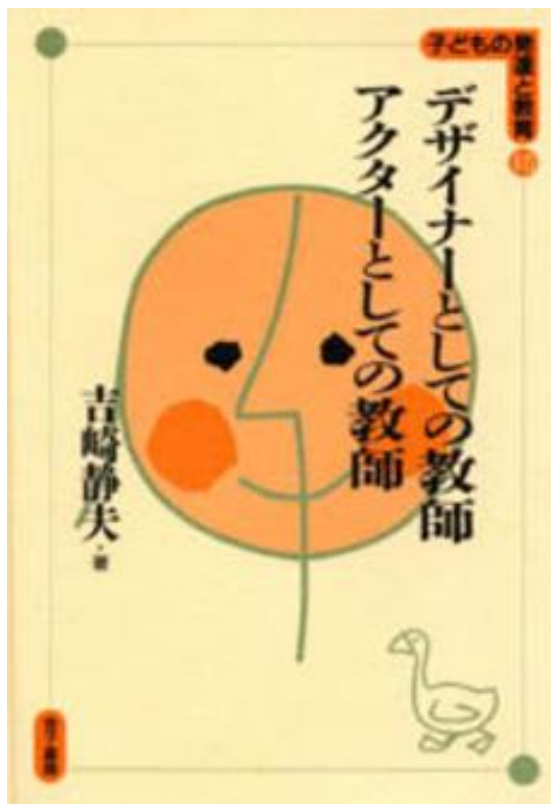
そもそも教師とはと、問い直すときです。日本女子大学の吉崎先生は、教師とは何か、3つの視点でとしています。

1つは、アクター（行為者）としての部分です。これは見える部分です。見えないところが大事です。つまり、まず、デザイナー（設計者）であるということです。その意味では総合は見えやすいのです。願いをもってしかけます。

もう一つは、評価者です。こどもたちをどう見るか。

ある子どもが「笑顔に着目しました。」と言いました。教師は、どこに着目しているか問われるのです。子どもの学びの価値を見取り、意義づけていくか。アクター、デザイナー、評価者の三つは三位一体です。すぐ評価し、アクトするのです。（中略）授業中、再デザインしていくのです。評価しつつデザインするのです。（鹿毛 雅治）

<http://www1.ttcn.ne.jp/~seikatusougou/gakusyuu/mabori/kage.htm>



2007年1月ディレクター就任



Search...



HOME COMPETENCY SETS » COMMUNITY OF USERS DOWNLOAD CENTER PUBLICATIONS ABOUT US » CONTACT US



New set of competencies for online learners

ibstpi, in its continuing work to develop

The 2012 Instructional Design Competencies

The ibstpi® Instructional Design Competencies have

Setting the standards of practice for 35 years

The International Board of Standards for Training, Performance and Instruction

Join the growing community of organizations that adopt our Standards

©2013 鈴木克明

eラーニング推進機構eラーニング授業設計支援室
ランチョンセミナー



lbstpi
IDコンピテンシー
5領域
(A)専門的基礎
(B)計画と分析
(C)設計と開発
(D)実施と評価
(E)管理

鈴木克明・根本淳子・合田美子・コザルカティファニー(2010.9)「インストラクショナルデザイン専門家職能に関する調査」日本教育工学会第26回全国大会(金城学院大学)発表論文集625-626

<http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/?p=2116>

- 1.視覚的・口頭・書面で効果的にコミュニケーションする(A)
- 15.教材を開発する(C)
- 3.ID プロセスや関連分野に関する知識・スキル・態度を更新・向上する(A)
- 16.学習アセスメントを設計する(C)
- 2.ID の領域に研究や理論を応用する(A)
- 11.設計・開発・評価する教育プログラムや成果物をまとめる(C)
- 12.教育的介入を設計する(C)
- 8.教育内容を決定するための分析技法を選択・利用する(B)
- 6.適切な設計ソリューションと方略を推奨するためにニーズアセスメントを実施する(B)
- 14.既存の教材を選択または修正する(C)
- 7.対象者集団と環境の特徴を特定・描写する(B)
- 10.与えられたプロジェクトに適切な教育設計・開発プロセスを使う(C)
- 22.ID プロジェクトを計画・管理する(E)
- 4.ID プロジェクトでデータ収集・分析スキルを応用する(A)
- 9.既存・新興技術の特徴と利用可能性を分析する(B)
- 17.教育的介入と教育以外の介入を評価する(D)
- 21.パートナーシップと協同的關係を管理する(E)
- 5.職場における倫理的・法律的・政治的な設計の影響を特定し対応する(A)
- 20.ID 機能を管理するためにビジネススキルを応用する(E)
- 19.教育的介入と教育以外の介入を実施・発信し、普及させる(D)
- 18.教育的ソリューションとそれ以外のソリューションをデータに基づいて改訂する(D)
- 13.教育以外の介入を計画する(C)

プロフェッショナルとしての基礎

1. 効果的にコミュニケーションできる。
2. 自身の専門家としての知識やスキルを更新・向上できる。
3. 確立されている倫理的・法律的な基準を守る。
4. 専門家としての信頼を確立・維持できる。

企画と準備

5. インストラクションの方法や教材を計画できる。
6. インストラクションを準備できる。

方法と方略

7. 受講者の意欲や没入感を刺激・維持できる。
8. 効果的なプレゼンテーションができる。
9. 効果的なファシリテーションができる。
10. 効果的な質問ができる。
11. 補足的な解説やフィードバックを与えられる。
12. 知識とスキルの保持(長く記憶すること)を促進できる。
13. 知識とスキルの転移(応用すること)を促進できる。
14. 学習と職務遂行を推進するたえにメディアやテクノロジーを活用できる。

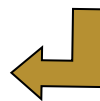
評価

15. 学習成果と職務遂行を推進するためにメディアやテクノロジーを活用できる。
16. インストラクションの効果を評価できる。

マネジメント

17. 学習と職務遂行を促進するような環境を維持できる。
18. テクノロジーを適に使うことによって、インストラクションのプロセスを管理できる。⁶

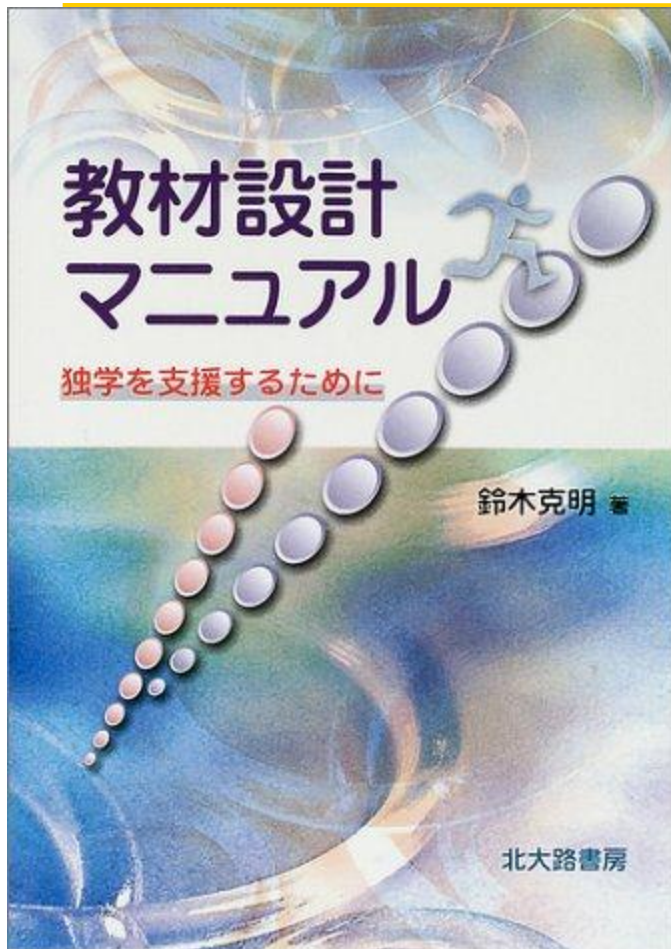
グラボウスキ・B. (2008.8.20)
「ibstpi®の教育・研修担当者職務能力水準について」JSISH主催講演会@国立国際医療センター研修センター



「教材設計マニュアル」(2002) ——言いたいことを全部書いた本



Kumamoto University
大学院社会文化科学研究科
教授システム学専攻



- ・教職課程「教育方法」のテキストとして執筆した。
- ・講義で話すことがなくなった。
- ・講義時間は、確認テスト&相互チェック作業&相談の時間になった。
- ・寝ている人はいなくなった。
- ・言いたいことを書くだけでなく、ID的工夫を盛り込んだ。
 - － 学習目標・キーワード・背景・練習・フィードバック・見取図・課題・カリキュラム案・(テスト)





- [046-02]【連載】ヒゲ講師のID活動日誌(42)
～教える内容を知らない教育専門職：教育設計者とインストラクタの違い～
- ヒゲ講師は、年度末のある研究会で耳にした次の発言がずっと気になっていた。
- 「FDで他の教員の授業検討会に出席しても、結局は教えている内容が違う者が意見を言っても意味がない。」
(中略：[続きへ](#))



- この教えたことがない内容についてアドバイスできる教育の専門職を「教育設計者」という。英語ではInstructional Designer。ちなみに、これを日本語表記でIDerと書き、アイディーアーとか読む人もいるが、ヒゲ講師はそれをあまり好まない（余談だが、2003年には「ID者」と書くことを提唱したが広く受け入れられることはなかったので最近は止めている。インストラクショナルデザイナーと書くと長ったらしくて困るんですがね・・・）。

【連載】ヒゲ講師のID活動日誌(42) ～教える内容を知らない教育専門職：教育設計者とインストラクタの違い～

http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/?page_id=6 （続きへ）

- 自分が教えたこともないことを教えている人に対して、もっとこうやったらどうですか、とか平気で助言し、そもそも何を教えようとしているんですか、とか平気で聞くことができる。何故かって、そういう専門職なんだから仕方ないんです。

【連載】ヒゲ講師のID活動日誌(42) ～教える内容を知らない教育専門職：教育設計者とインストラクタの違い～

http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/?page_id=6



JSISHセミナー@首都大学東京秋葉原サテライト
2009. 3. 8

医療専門職のためのダブルディグリー (Double Degree)のすすめ



熊本大学大学院社会文化科学研究科
教授システム学専攻長・教授
鈴木 克明

<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/>
ksuzuki@kumamoto-u.ac.jp

本日のメッセージへ

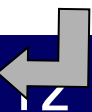




本日のメッセージ： ダブルディグリーのすすめ

- ・教育工学とその中心概念のインストラクショナルデザイン(ID)は50年もの伝統がある教育への科学的アプローチを研究する領域で、**医療現場における教育の問題解決に役立ちます。**
- ・企業内教育と高等教育に役立つ教育工学が**仕事をやめずに自宅で学べます。**
- ・医療現場における**教育の専門家**を目指してもう一つの学位を取得する方が増えることを期待しています！

鈴木克明(2009.3.8)「医療専門職のためのダブルディグリー(Double Degree)のすすめ」JSISHセミナー@首都大学東京秋葉原サテライト



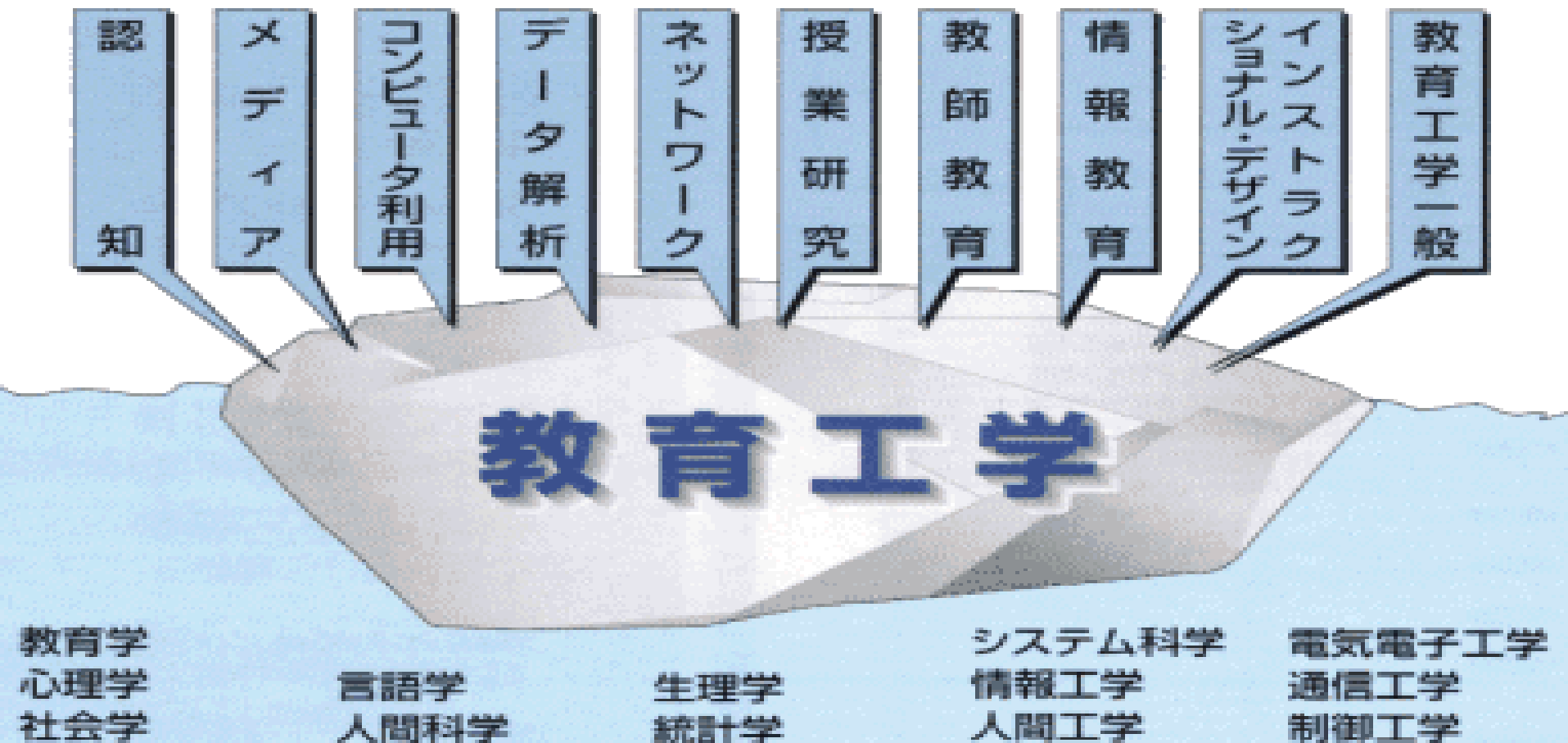
人文社会系と理工系、並びに人間に関する
学問分野を融合した学際的な学問

教育工学の10分野

JSET 創立15周年記念出版 (教育工学事典 2000)

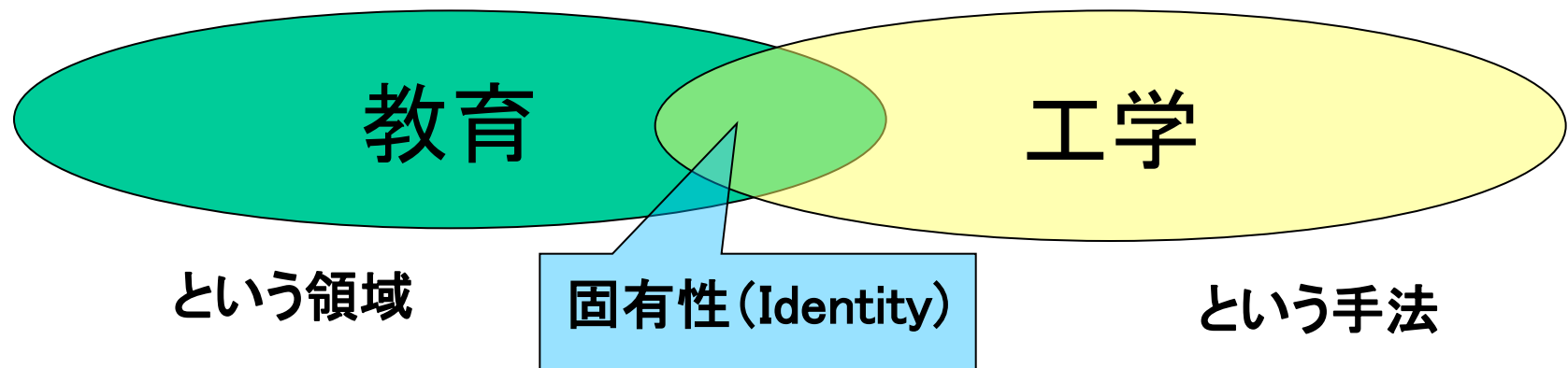
教育という領域の
工学という方法

日本の教育工学
の関心の偏り



教育工学＝楽観主義＋折衷主義！ (鈴木 1995)

日本の教育工学
の関心の偏り



楽観主義：人を育てるためには必須の
研究態度＝決して諦めない
折衷主義：何でも使って問題を解決する
のが工学＝えり好みしない

我が国におけるこれまでの 教育工学の研究対象：関心の偏り

K-12 ICT

生涯学習

eラーニング

高等教育

企業内教育

モバイル/ユビキタス

インストラクショナルデザイン

これをやろう！